

ファストランタイマー電池交換法

1. ご注意

この説明書は、ご自分でファストランのタイマーの電池交換をされる方のための電池交換法を記載しております。スタート装置とゴール装置はネジを開けて単4、単3の電池を入れ替えるだけなので、説明書なしでも可能ですが、タイマーの電池交換は少しややこしいので、説明書にしています。

ご自分で交換するのが面倒だったり、不安だったりする場合は、ワイワイファクトリーでも有償での電池交換サービスを行っておりますので、info@yy-factory.com にメールにてお問い合わせ下さい。

2. 電池について

ファストランは CR2025型のボタン電池1つで動作しています。

新しい電池で約2000回の測定ができます。ただし、測定をしていなくても電池は減ります。測定をせずに1日置くとおよそ2回の測定に相当する電池の消耗があります。

およその目安ですが、使用頻度により、電池の持ちは下記のようなります。

週30回ペースで測定し続けると1年

週10回ペースで測定し続けると2年弱

何も測定していなくても3年でなくなります

電池寿命は気温や使用環境や使用する電池により変動します。上記は目安と考えて下さい。

ゴールの直後など、測定しないときに「Ready」を押しても、測定1回分の電池が消耗しますので、ご注意ください。

3. 準備

市販の CR2025型のボタン電池をご用意ください。格安店ででの品物は品質が悪く、液漏れなどの問題を発生させることがありますので、正規店ででの品物をお勧めします。

タイマーの Ready を押して、表示を 0:00 00 にしてください。表示が 0:00 00 にならないときは、Stop → Ready → Ready と押して、0:00 00 になることを確認してください(図1)。



図1 タイマーを初期状態にします(表示 0:00 00)

4. ケースを開けます

裏蓋に6個のネジがありますので、すべて外してください。うち2つはベルトの下に隠れています(図2)ので、ご注意ください。ネジを全部外したら裏蓋を取り外してください。図3のような基板が見えます。

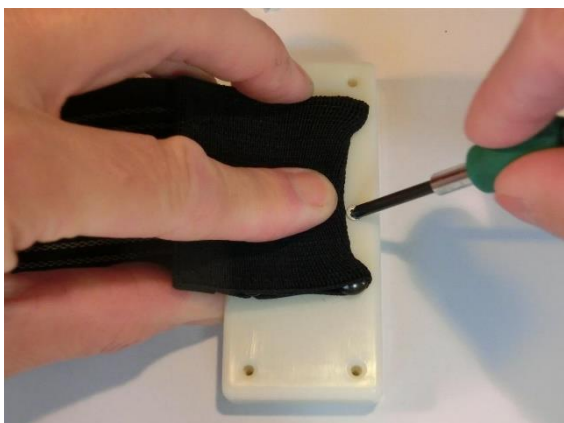


図2 ネジを6個はずします



図3 裏蓋をはずした状態

5. 電池を交換します

古い電池をはずしてから、新しい電池を入れるまでを10秒以内で行います。

先に、次に入れる新しい電池をご準備ください。電池をパッケージから出し、きれいなところに置いておいてください(図4)。そのとき、必ず手をきれいにしてから行って下さい。電池表面に手の油や汗の塩分などが付くと、接触不良の原因になり、内部の電極の劣化にもつながります。持つときも端を持ち、表面は触らないようにしてください(図5)。

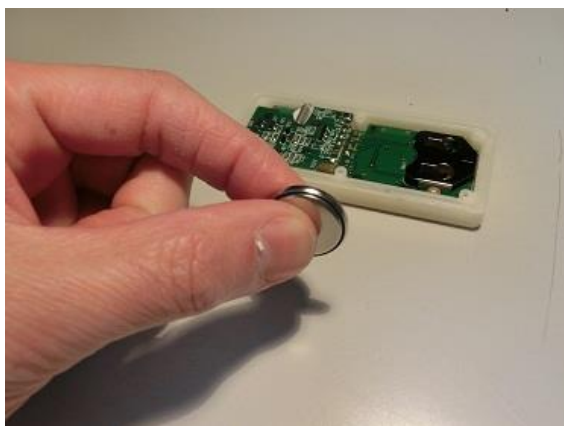
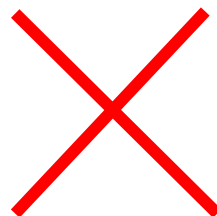


図4 古い電池をはずす前に新しい電池を準備 図5 電池表面は触らない

古い電池を取り出します。つまようじなどの細い棒を使って、まず、後ろから押し出し(図6)、ある程度まで出たら、電池ホルダーの上の隙間に棒を移動し(図7)、完全に出してしまいます。このとき、金属の棒は回路をショートしてしまいますので、絶対に使わないでください。

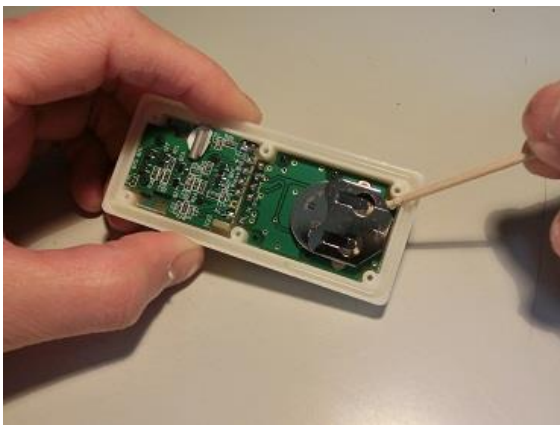


図6 まず、後ろから押し出す



図7 その後、上の隙間から押し出す

古い電池が出たら、**すぐに**新しい電池を入れます(図8)。電池が外れたままで、10秒以上経つと、内部のメモリーが消え、回路が初期状態に戻ってしまうことがあります。こうなると、後に示す面倒な作業が必要になります。複数のタイマーの電池交換をするときは、先にすべての電池を外して、あとからすべてを入れる、という順序で行うと、上記の問題が発生する可能性が高まります。必ず、1つずつ行って下さい。

電池は平たい方(通常 CR2025 と表示がある方)を上にして、一番奥まで押し込んでください。

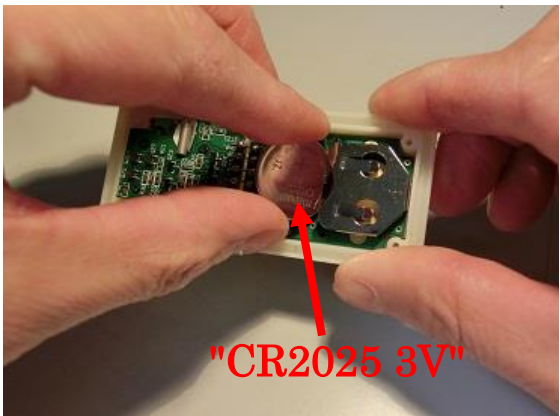


図8 すぐ新しい電池を入れます(向きに注意)

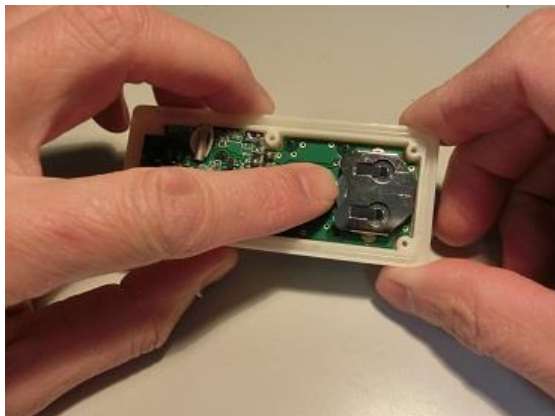


図9 奥まで押し込む

6. 確認

表示が 0:00 00 になっていることを確認します(図10)。

表示が 0:00 00 になっていないときは、「7. モード変更」の作業が必要です。

表示が正常なら、「8. 裏蓋を閉じる」に進んでください。



図10 表示が 0:00 00 なら正常

7. モード変更

表示が、図11や図12のようになっていたら、内部メモリーの設定が変わってしまってますので、モード変更が必要です。



図11 正常でない状態



図12 正常でない状態

モード変更をするには、図13のように、写真の部分の2ヶ所を電氣的に接触させます(2018年4月以降にお求めの方は図13'を参照ください)。図14のAの矢印の電極(穴が開いている)に金属のピンセットなどの片側を差込み、ピンセットのもう片側を図14のBの矢印の金属部に接触させます。

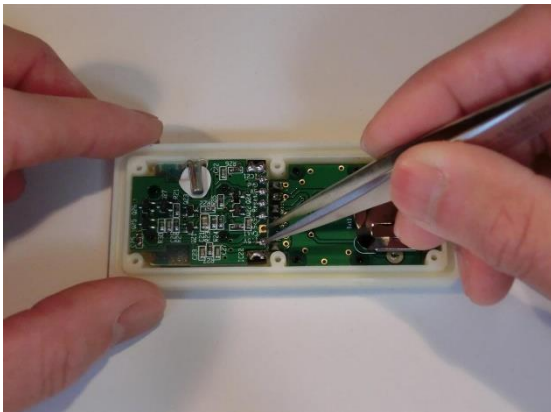


図13 電極2ヶ所を同時に触る

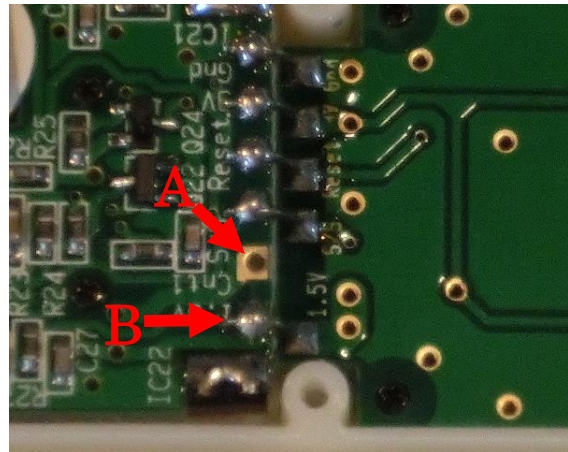


図14 接触させる2つの電極

電極を接触させると、モードが変わります。接触させたら、表示を確認してください。0:00 00 になったら成功です。1度では戻らないので、表示が 0:00 00 に戻るまで接触を繰り返してください。モードは4つあり、そこを巡回します。1度だけ接触したつもりでも、実は2度接触してしまっていることもあり、行き過ぎてしまうことがありますので、何度か繰り返してください。

2018年4月以降にお買い求めのタイマーは図13' のようになっています。このときは、赤矢印に示す小さな押しボタンを爪の先などで押すとモードが変わります。それ以外は同じです。

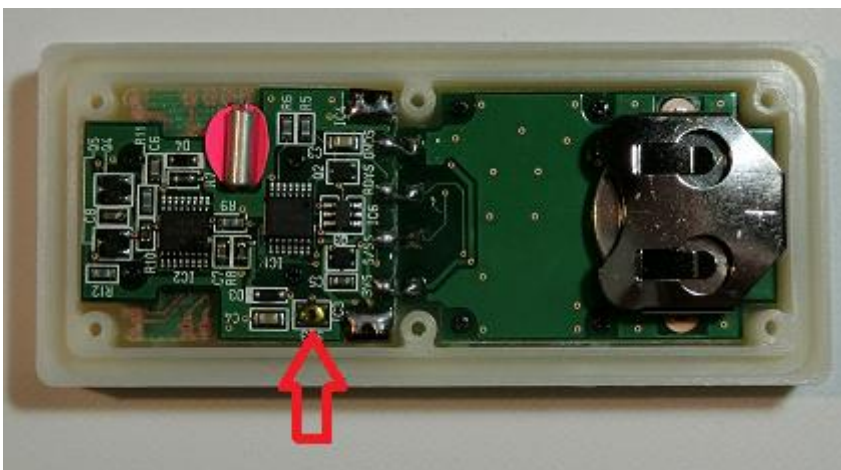


図13' 2018年4月以降にお買い求めの場合はこのスイッチを押す

8. 裏蓋を閉じる

裏蓋を閉じれば終了です。ネジは6つありますので、ベルトの裏のネジも忘れずに締めて下さい。

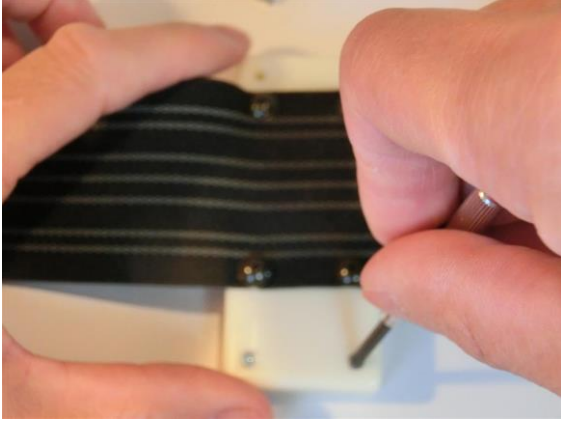


図15 裏蓋を閉じる

図16 完了です